

## 年間学習計画と評価について

学 校 名	学 年	教 科
内 部 中 学 校	1 学 年	技 術 ・ 家 庭 科 家 庭 分 野

### 1 学習のねらい等

学習のねらい	<p>○自分の成長と家族や家庭生活とのかかわりについて考える。</p> <p>○作品の製作などの体験的な活動を通して、生活の自立に必要な衣・住に関する基礎的な知識と技術を習得する。</p> <p>○生活に必要な基礎的な「家庭」について理解を深め、適切に活用する能力を養う。</p> <p>○生活を工夫し、創造する能力を養う。</p> <p>○大きな災害に備え、衣生活で工夫できることについて考える。</p> <p>&lt;家族と家庭生活&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の成長と家族と家庭生活とのかかわりについて、関心をもって学習活動に取り組もう。</li> </ul> <p>&lt;生活の自立と衣食住&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的に応じた着用や個性を生かす着用が工夫できるようになるう。</li> <li>・衣服材料に応じた日常着の適切な手入れと補修ができるようになるう。</li> <li>・安全で快適な室内環境の整え方を知り、よりよい住まい方の工夫ができるようになるう。</li> </ul>
使用教材	教科書： 新しい技術・家庭 家庭分野 （東京書籍）

### 2 評価の観点および方法

評 価 の 観 点	評 価 の 観 点	評 価 の 方 法
① 生活への関心・意欲・態度	家族のはたらきや自分の成長について関心をもち、これからの学習にいかそうとする。衣生活に対する関心を高め、毎時間の学習や体験的な活動に意欲的に取り組む態度で学ぼうとする。また、仲間と課題を共有しながら解決しようとする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習活動への参加の仕方や様子</li> <li>・ 課題に取り組む様子</li> <li>・ プリント等の記入内容</li> <li>・ 授業での発言の内容</li> </ul>
② 生活を工夫し、創造する能力	学習したことを実習や生活の場で生かし、工夫しようとする。また、災害などに備えた衣生活について考えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業での発言の内容</li> <li>・ 課題に取り組む様子</li> <li>・ 作品製作に取り組む様子</li> <li>・ プリント等の記入内容</li> </ul>
③ 生活の技能	安全を配慮し、効率よく、丁寧に作業や製作ができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作品の提出内容</li> <li>・ 作品製作に取り組む様子</li> </ul>

④ 生活や技術についての知識・理解	衣生活や住生活について、その特性などを理解し、その知識を身に付けている。	・定期テストおよび小テスト
-------------------	--------------------------------------	---------------

### 3 学習計画

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
一 学 期	<p>わたしと家族・家庭と地域 ・わたしと家庭生活</p> <p>中学生になるまで</p> <p>衣生活と自立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・着る目的を考えよう</li> <li>・衣服の計画的な活用方法</li> <li>・衣服の手入れをしよう</li> <li>・必要な衣服を選択しよう</li> <li>・生活を豊かにするために</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 家族についての考えを深める。</li> <li>② 自分がどのように成長してきたかを振り返り、さまざまな人びとのかかわりや経験によって成長してきたことを理解できる。</li> <li>③ 衣服と社会生活との関わりについて関心を持ち、また実習作業に意欲的に取り組むことができる。</li> <li>④ 基礎縫いや衣服の補修に必要な縫い方が正しくでき、安全で効率よく作品を製作することができる。</li> <li>⑤ 製作作業について課題を持ち、自分なりの工夫や、新たな方法を考えることができる。</li> <li>⑥ 手入れや補修の必要性を理解し、適切な補修や手入れができる。</li> <li>⑦ 災害時に備えた衣生活での準備や工夫を考えることができる。</li> </ol>
二 学 期	<p>住生活と自立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住まいの役割</li> <li>・家族と住まいのかかわり</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 住まいの基本的な機能を知る。</li> <li>② 安全で快適な室内環境の整え方を知り、よりよい住まい方の工夫をすることができる。災害時に備えた住生活での準備や工夫を考えることができる。</li> </ol>

### 4 学習方法についてのアドバイス

学習方法	学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャイムが鳴るまでに授業の準備をして、着席しよう。</li> <li>・作品づくりにおいては、忘れ物をせず、安全面に気をつけて取り組もう。</li> <li>・課題を共有し、仲間と共に解決を目指そう。</li> <li>・授業での発問などには、積極的に参加して発表しよう。</li> <li>・ファイル・ワーク等の提出物は期日を守ろう。</li> </ul>
	家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭での仕事を積極的に手伝おう。(特に夏休み等の長期休暇には家族の一員として自覚を持って手伝おう。)</li> <li>・洗濯やボタン付けなど自分でできることは進んで取り組もう。</li> <li>・新聞やニュースに関心を持って、衣食住や家族について考えよう。</li> <li>・日常生活だけでなく、日頃から災害時の準備についても家族と話し合おう。</li> </ul>